

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成25年9月26日 午前10時 1分
- 2 閉 会 平成25年9月26日 午前11時48分
- 3 場 所 総社市役所保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

委員長	林 直 人
委員長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	下 山 洋 子
委 員 (教育長)	山 中 榮 輔

- 5 会議に出席した者

教育次長	松 尾 一 夫
参事兼庶務課長	三 村 和 久
学校教育課長	東 長 典
生涯学習課長	佐 近 昇
文化課長	谷 山 雅 彦
庶務課課長補佐	松 久 茂 喜

- 6 会議録署名委員

米 谷 正 造	小鍛治 一 圭
---------	---------

- 7 付議事件

議案第20号 総社市教育委員会表彰について

原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前10時1分

林委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案1件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。

会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、米谷委員、小鍛冶委員の2名をお願いします。

では、議案第20号「総社市教育委員会表彰について」事務局から説明願います。

各所管課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第20号について質問はありませんか。

米谷委員 浅野さんは、「学校のよりよい環境づくりや」ということで、子どもたちの学校での花作りとか、どういう内容の貢献をされているのかお聞かせいただければと思います。非常に素晴らしいことだなあと思うものですから。

谷山文化課長 手元に詳しい資料がないんですけども、主にはそういう講師として、花づくりの指導をされているというふう聞いております。

林委員長 お諮りいたします。

議案第20号については、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

林委員長 ご異議がないようですので、議案第20号については原案のとおり可決しました。

次に、教育長の報告をお願いします。

山中教育長 8月議会のお話を前回お話ししましたけれども、トピックスは昭和地区を特区化して英語教育をやろうということで、今のところ考えておりますのは、維新幼稚園と山田幼稚園で英語の教育をやります。それから、維新小学校と昭和小学校、それから昭和中学校、二つの小学校と一つの中学校を一体にして、幼小中の連携校をやりたいと。その中で、英語が通常の学校と比べて、少しレベルが高いものを目指す。どのレベルを目標にするかは、これから考えないといけないんですけども、中学校を出て、英検2級は何人か通るというぐらいのレベルがあればいいなとは思っておりますけど、これから具体的なことは詰めていきます。ただ、12月に募集を始めますので、それまでに何らかの形で、骨子というものとPRポイントとか、そういうものを決めてやっていかないと、集まらないと思います。市長は、予算はきちっとつけると言っておいておられますので、あとはどういう人材を採用できるかということと、どういう仕掛けでやるかということが大切かなと思っております。両方の幼稚園を見たんですけども、特に維新が非常に古くて、耐震設計されていないんです。それと、かなり汚い。だから、化粧直しじゃないですけども、少しきれいにして受け入れられるようにしないと、あれを見ると、山田にばかり集中するんじゃないかと思っております。その辺も手を入れる必要があるなと考えております。ですから、ハード、ソフト両面で整備をするという計画をこれから作りたいと思っております。

そのほかは、全国学力・学習状況調査の結果が出まして、国と県が公表しました。県は、各市町村の小学校、中学校の学科別平均正答率を出したわけですけど、あとでまた詳細にご報告いたします。ただ、この中で県が学校ごとに結果を公表することが望ましいという文書を学校長に配ってくれということで配りました。この学校ごとの公表というのは、校長の判断によることに今の実施要領ではなっておりますので、校長先生に判断をしていただくこととなります。ただ、無用の競争を煽るような公表の仕方はよくないと思っております。公表することによって何らかのプラスが出るような、そういう公表の仕方を考えるべきだと思っております。国がどういうふうに動くかですけれども、国としては今の縛りをもう少し緩めようという方向に動いているようでありまして、そういう意味から、どういう公表がいいのかというのはこれからの課題になると思っております。

それから、総社東中学校のその後の状況ですけれども、あの事件の後、スクールカウンセラーを入れて、保護者の研修会みたいなものをやりまして、当初はカウンセラーが4人体制だったのを今は2名に絞って、カウンセリングをやる子どもも減ってきましたので、あとは継続的にフォローできる子どもたちをカウンセリングする。もちろん家庭もそうですけど、土日も含めてそういう体制をとっております。ですから、保護者のカウンセリングも希望者を受けて今やっております。この体制は年度内ぐらいは続けていきたいと思っております。

もう一つは、東中でこういう不幸な事件がありましたので、校長経験者、そういうトラブルを経験した方を、今非常勤で配置してもらっております。これも年度内は県が予算を捻出していただいておりますので、校長先生の相談役も含めていろんなことを示唆いただくようにしております。私もコミュニケーションを図って、その方からいろんな話を伺って、学校にもフィードバックできるように、仕組みも変えられるような対応をしようとしております。

それと、ことしは先生方の交通事故が非常に多いんです。4月から今まで、半年で19件ですから結構高いと。それで調べますと、例年それぐらい出ているんですけども、子どもたちの20倍ぐらい出ております。ただ19件のうち、明らかに悪いというんですか、追突されたり、自責のない部分を除きますと8件。8件でも、大体子どもたちの10倍ぐらいです。そういうことで、先生方に今警告を発しております。個別にその事故を起こした方は、私のところに来てもらって、状況と対応について話を聞いているところです。これはずっと続けるつもりはないんですけども、この8人の中で4人が幼稚園の教諭なんです。全体で600人の職員がいるんですけど、600人中8件で、幼稚園は100人ですから、100名の中でいったらかなり多い。しかも若い先生が多いということで、そういう部分も園長先生には指導していただくようお願いはしているんですけど、とりあえず直接話を伺ったほうがいいと思って、今そういうことをやっております。以上です。

米谷委員 特区のことですけど、PRはどういうふうにされるんですか。もう全県ですか。

山中教育長 市長は非常にやりたいようです。日本で初めてじゃないかと、こういうやり方をするのは。それを調べてほしいと言われていまして、なかなか調べ方が難しいんですけど

ども、何らかの形でプレスを使いたいと思っておられるようです。

それと、もう一つは今幼稚園の先生方をお願いして、保護者経由で口コミでやっていくというほうが、全体にオープンにするよりもやりやすいんじゃないかなと。今、両方やっております。全体にオープンにしても内容がよくわからないと思うんで、個別にそういうよくわかっている人に説明していくということがポイントかなと。一気に来年度応募者が増えるかという、それはなかなか難しい。他校の例を見ても、四、五年はかかっておりますので。だからといって四、五年かけるといわけじゃないんですけれども、その辺は工夫してやっていかないといけないと思っております。

下山委員 その件で、この間公開授業の帰りに車の中で話をしましたが、新聞にちらっと出ただけで市内の保護者もご存知ないから、パンフレットと、または高校がしているようなオープンスクールみたいな何かあると、あれだけの子どもが笑顔で英語で楽しく授業をしているというようなところを見ていただけたら、保護者の気持ちも違うのではないかなと。オープンスクールをひとつ希望したいなと思いました。

小鍛治委員 私もこの間昭和地区の視察に行かせていただきまして、本当にすごく感動したというか、非常に素晴らしい取り組みだなあと思いました。ただ、12月から募集を始めるということで、帰りの車で話をさせていただいたんですけど、12月からの募集で多分思い切って踏み込む保護者の方は大変少ないんじゃないかなあと思います。だから、もっと早くアピールをするというのと、それからこういうことをするんだという、もっと中身を見せてあげると。それから、通学のことも、もっと早く明快にしてあげたほうがいいんじゃないかなあと思います。例えば、スクールバスが出るとか出ないとか、ここからここまでは保護者が責任を持たないといけないとか、そういういうことが端から通学する生徒、保護者というのは大変不安なんじゃないかなあと思います。それから、住む環境、住む場所というのがあればいいんじゃないかなあと。あの辺はなかなか住む場所がないですから、そういうことも問題になってくるんじゃないかなあと思います。ぜひ、成功させていただきたいと思っております。

山中教育長 当面は、スクールバスは用意しません。そういうこともある程度枠組みを作って、教育委員会に諮って、それから開示します。大体11月、できるだけ早くやりたいんですけど、その間にチャンスロスを減らすために、口コミで広げたい。

小鍛治委員 今、幼稚園であれば、運動会とかのシーズンなんでお忙しいと思うんですけども、12月募集であれば、それが明けたぐらいに保護者説明会みたいなものができるくらいのスピードが必要なんじゃないかなあと思います。

山中教育長 実態がないものですから、見せるにも見せようがないという、そこが非常に難しいんです。ですから、信用してもらって行こうという方でないと難しいんですよ。そうするとプライベートゾーンになってしまうんですね。オープンにはやりますけれども、市長ともよく相談したんですが、初年度からそれはなかなか難しいだろうと。余り焦らなくてもいいと。僕もそう思うんです。情報提供は必ずやらないといけないですけど、自分が行く立場

になった時に、現地を見て本当にどんなことをやるのかということがないと、踏み切れないです。それを踏み切る人というのは、もうちょっとポテンシャルが高いとか、思いが強い人だと思っただけですね。とりあえずそういう人を受け入れるんだと思っただけですよ。それから、実際に実績を上げて次が増えていくと。だからといって、PRとオープンスクールをやらないうわけじゃないんですけれども、幼稚園はできるだけオープンスクールはやりたいたと思います。

林委員長 次に、報告事項等に移りますが、まず「総社市就学援助規則の一部改正について」事務局から報告をお願いします。

三村庶務課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

米谷委員 これは、法改正か何かで変更になったというふうに理解をすればよろしいですか。

三村庶務課長 法改正に伴うものではございませんで、総社市独自のやり方をここで改めようとするものでございます。

林委員長 第3条のイの教育委員会の定める需要額未満である者という、この需要額というのは一体どれぐらいなんですかね。

三村庶務課長 基本的には所得が基本になっております。その所得と教育委員会が定める需要額を比較して決定をするんですけれども、教育委員会が定めている需要額の基本は、生活保護家庭を基本として、それに幾らか上乗せをした額。ですから、世帯構成によっても異なりますし、年齢によっても異なりますので、一概に幾らというのは言えないんですけれども、そういった基準を作って、個別に比較をして認定をしております。

林委員長 次に、「全国学力・学習状況調査結果について」事務局から報告をお願いします。

風早学校教育課主幹 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

風早学校教育課主幹 先ほど言い忘れましたが、前回、米谷委員のほうから言われましたクロス集計ということですが、例えば先ほどの学習時間について見ますと、やはり学習時間が長い児童生徒の点数が高いという結果がこのたびも出ております。学校間の格差もありますが、同じ学校の中でも学習時間が個人の差になっております。全体でそういう集計を見ましたら、やはり家庭学習の時間は、最終的には学力に比例していくというのも出ておりました。

それで、4つの中学校のグラフの上側を見てください。生徒の質問紙で、例えば国語への関心等が全国基準の枠から多くの中学校で飛び出した形、関心が高いといういい状態なんですけど、それがそのまま国語の点数につながっているかなと思います。

米谷委員 10ページの学校間の格差は、義務教育なのでなるべくこれがないようにしないといけないと思うんですけど、このあたりの原因と伺いますか、多分授業とプラスアルファの部分もあるのかなというように感じもするんですけど、そのあたり何かこの原因的なものがある程度見えているんならば教えていただきたいと思っただけです。

風早学校教育課主幹 先ほどいくつか例を挙げましたが、計算練習等を繰り返ししているのかしていないのか。それから、私も夏、各中学校ブロックで対策を考える会議があったので参加したんですが、そこで宿題の出し方がまずいというのを小学校の先生が言われていました。自由勉強、自主勉強をしてみましょうと言うと、例えばそういうものを出すと、国旗をずっと自主勉強ノートに何時間もかけて書いてくるんです。果たしてこれが本当にどれだけのものになるかなど。家庭学習の時間はあるんですけども、家庭学習の中身を考えていけないといけないとのことでした。それから、今やっていることは取り組みやすいんですけども、ちょっと前にやったことに取り組めていない。先ほども申しましたが、小学校5年生の時に、5年生で習っていることは繰り返し復習するんですけども、4年生や3年生で習った筆算を使った小数第1位と小数第2位があるあの引き算の計算練習というのはできていない。こういうことに対応できる課題の出し方を考えないといけないと言われました。宿題の出し方であるとか、朝自習、朝学習の時間であるとか、授業の中での復習をこれからどう取り組むかで変わってくるものもあるかなと思っております。

下山委員 今回もいろいろ説明を受けて、やはり先生たちがいろいろ頑張られているなということを感じてありがたいと思っております。それから、学校環境とか家庭環境が大事だなということや、それから学習時間、読書時間とかというのも、時間じゃなくてやはり内容だなと。集中してしましようという言葉で終わってしまいますけれど、もう内容だなということで。以前も読書時間を調べたんですけど、時間だけじゃなくていろいろ分野を広げるとか、内容ということをやっていた頃もあるんですけど、やはり内容がきちっと集中してできているというのが違うんだなということも感じているところです。

林委員長 いろいろなアプローチの仕方があると思うんですけども、行政は行政としてやはりどういうサポートができるのかということになってきますし、学校は学校で、もう少し学力をつけるということが一つの大きな使命でもありますので、それに向けてどうやったらいいのかということをやったり考えてもらうということになると思いますね。家庭と地域と学校と、そこら辺の底上げをしていくのが本筋かなあということをおもっております。

林委員長 次に、「中学生の海外ホームステイについて」事務局から説明をお願いします。

風早学校教育課主幹 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明についてご意見等はありませんか。

米谷委員 一点だけ質問です。受け入れてくれているのは公立の学校ですか。

風早学校教育課主幹 はい、そうです。公立ですので、言葉は悪いんですが、所得が高いお家は大きな広い家を持っていて、それは私立へ行く場合が多いようです。キューハイスクールは公立ですが、その中で家に泊められますという条件、個室を与えてベッドを用意できるというところが受け入れてくださっております。ベッドについては、学校が貸し出しもしてくれます。今、個室が用意できるお家がだんだん少なくなっているようで、15名のお家を探していただくのは苦しかったようです。そのため、1名だけは学校の先生のお家へお世

話になりました、ここのお子さんは他の中学校へお子さんは通っているんですが、ご無理をお願いしたようです。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

東学校教育課長 【幼稚園教諭採用試験の状況、条件付採用職員の正式採用について】報告した。

谷山文化課長 【文化財専門職員採用試験の状況について】報告した。

林委員長 では、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、10月25日（金）午後4時から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、11月の教育委員会の日程について、事務局から提案願います。

（11月の教育委員会について日程調整）

林委員長 では、11月の教育委員会は、11月26日午前9時30分から開催いたします。

また、先ほど事務局から説明がありましたように、教育委員会表彰を11月1日（金）午前10時から開催いたしますので、ご出席くださいますよう、よろしくお願いいたします。

次に、前回は協議いただきました教育委員の行政視察については、11月11日（月）及び12日（火）に、小中連携教育について、福井市立旭小学校・成和中学校を視察いたしますので、万障お繰り合わせの上、全員参加されますよう、よろしくお願いいたします。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時48分